

アルミニウム合金製

可搬式作業台

勇馬

(ESK)

(一社) 仮設工業会認定品

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には、必ずこの取扱説明書をよく**読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せるところへ**大切に保存**してください。

取扱説明書



●アルミニウム合金製可搬式作業台「勇馬」は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、本製品の安定した状態を確認してください。

●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起されても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて	2
各部の名称及び仕様	3
伸縮脚調節の伸縮機能について	4
安全のために、必ず守っていただきたいこと	5
1. 使用条件について	5
2. お使いになる前に	6
3. 運ぶときは	6
4. 設置する場所について	6
5. 使用状態にするとき	7
6. 使用状態に設置にするとき	7
7. 登り降りや作業をするとき	8
ご使用前の点検（日常点検）	10
＜本体の点検＞	10
1. 目で見て点検	10
2. 伸縮脚と、伸縮脚調節装置の点検	10
3. 触って点検	11
4. 支柱を開閉して点検	11
＜手がかり棒の点検＞	11
設置場所について	12
勇馬（ESK）の使い方	13
1. 使用状態にするときとたたみかた	13
2. 伸縮脚の伸ばしかたと縮めかた	15
3. 登りかた・降りかた・作業のしかた	16
4. 手がかり棒の使いかた	16
使用後のお手入れと保管のしかた	17
1. お手入れのしかた	17
2. 保管のしかた	17
故障かな？と思ったら（不調診断）	18

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている

マーク付きの説明は、安全上特に、重要な項目ですから、必ずお守りください。

危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書及び警告ラベルの中で絵表示を使用しています。

絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを注意しています。



手をはさまないように注意

支柱を開閉するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。



背面降り禁止

天板から降りる時、背面降りすると身体が不安定になり、足を踏み外して転落する恐れがあることを注意しています。



伸縮脚のロック確認忘れに注意

伸縮脚をロックしていないと、伸縮脚が縮んで可搬式作業台から転落する恐れがあることを注意しています。



開き止め用ストッパーピンのロックに注意

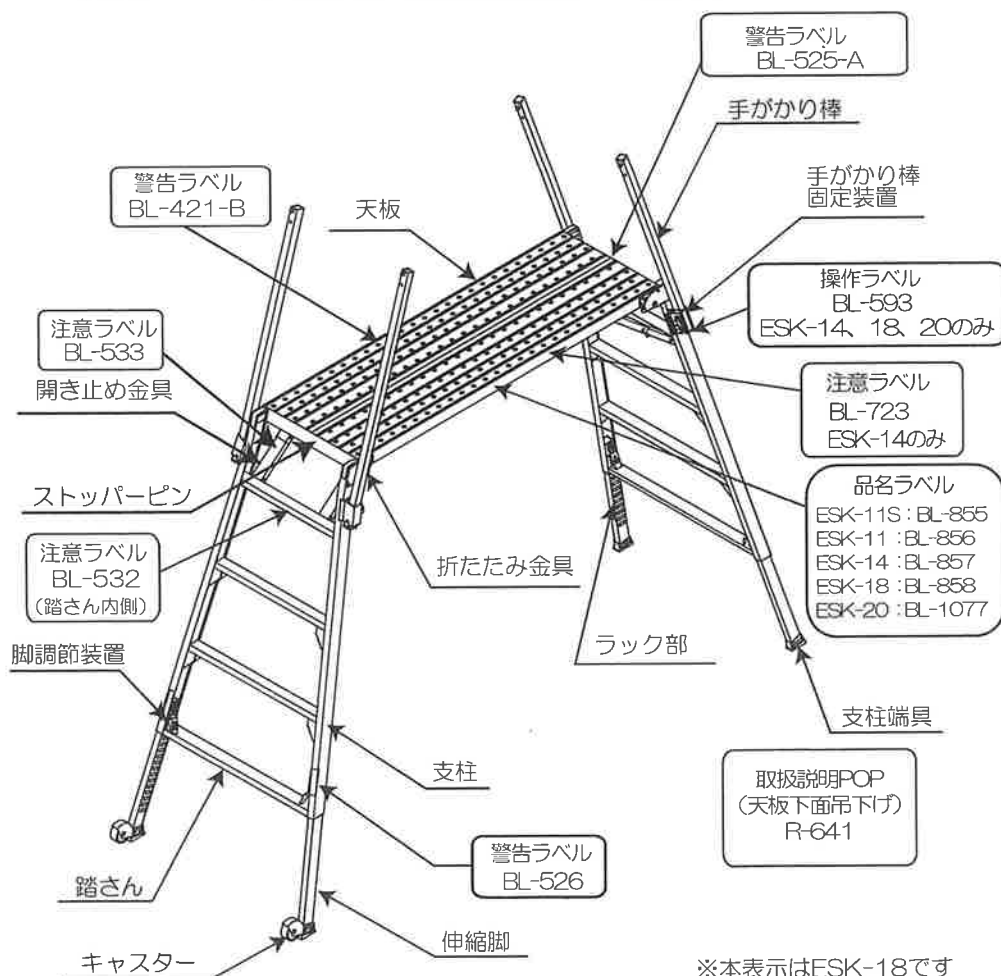
使用状態にしたとき、開き止め用ストッパーピンが、確実にロックされているか確認の注意をしています。



天板の上で爪先立ちするな

天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを注意しています。

各部の名称及び仕様



ESK-20には取付いていません

※本表示はESK-18です

型 式	垂直高さ	天板部 (mm)		設置スペース (mm)		質量(kg)
		天板幅	天板長さ	W	D	
ESK-11S	724~1,084	500	765	709~802	1,359~1,586	11.9
ESK-11			1,545		2,139~2,366	16.2
ESK-14	1,057~1,417			795~883	2,349~2,576	21.4
ESK-18	1,390~1,750			881~973	2,559~2,786	23.3
ESK-20	1,723~1,970		2,060	968~1,030	3,284~3,440	27.7

ESK-14,18,20は、手がかり棒4本標準装備

伸縮脚調節の伸縮機能について

スプリングの押し上げ力によるロックと伸縮脚に荷重が掛かると、荷重分ロックされるダブルロック方式です。

ノブを下に押し下げると、伸縮脚が伸縮できる状態になります。手を離せば自動的にロックされます。

荷重が掛かれば掛かるほど、強く固定される構造になっています。（クサビの原理で噛み合う力が強くなる。）

※念のため、ノブをロックした後、伸縮脚が滑らないか確認してからご使用ください。確実にロックされたかどうかわかりやすい色表示でひと目で確認できるよう確認窓を設けました。

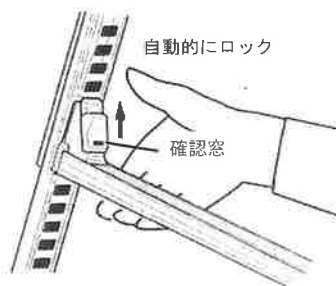
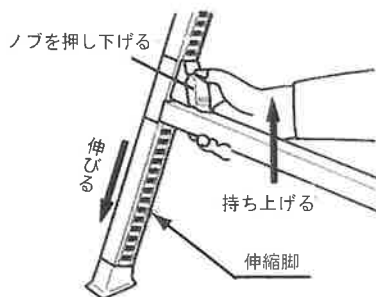
赤 → ロック解除（伸縮可能）状態を示します。

青 → ロックされた状態を示します。

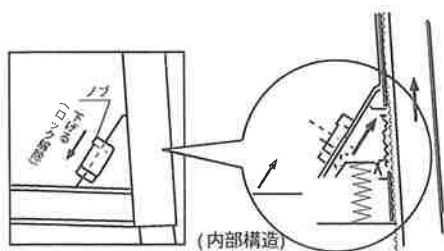
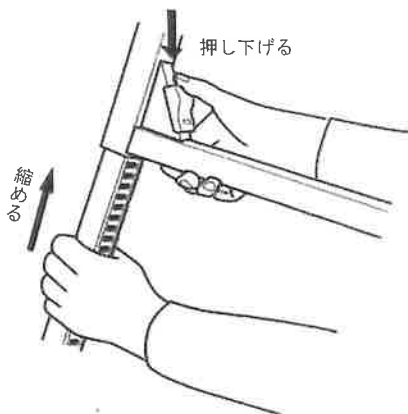
尚、伸縮脚を縮める場合は、荷重が掛かっていると作動しない構造になっていますので、伸縮脚を少し浮かせて、ノブ操作を行ってください。

天板に人及び荷を載せたまま操作をしないでください。必ず、天板上に何ものっていないことを確認した上で、伸縮操作を行ってください。

伸ばしかた



縮めかた



安全のために必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠ 警告 勇馬としての用途以外の使いかたをしないでください。
勇馬は、建築物等の天井又は壁面等の作業に使用する為の足場として作られたものです。

⚠ 警告 最大使用質量は下記の質量を守ってください。

体重が、最大使用質量を超える人や、体重と荷物の合計質量が最大使用質量を超えるときは、使わないでください。
ただし、荷物は身体の安定が保てる程度の重さにしてください。

型 式	最大使用質量
ESK-11S	1 5 0kg
ESK-11	1 5 0kg
ESK-14	1 5 0kg
ESK-18	1 5 0kg
ESK-20	1 5 0kg

⚠ 警告 貼りつけてあるラベル・ポップが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベル・ポップを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベル・ポップのナンバー（3ページ参照）をご連絡下さい。

⚠ 警告 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



⚠ 警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。



安全のために必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告 作業に適した服装で使ってください。

作業を行う際は、必ずヘルメット・安全靴等の安全具を着用し、正しい服装（作業服）で作業を行ってください。

⚠ 警告 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で、特に重要なことが書かれていますのでよく理解のうえ使うように指導してください。

2. お使いになる前に

⚠ 警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検（10. 11 ページ参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告 変形した勇馬を使わないで下さい。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって変形した製品を修理して使いますと折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。



3. 運ぶときは

⚠ 注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っばらないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

⚠ 注意 持ち運ぶときは、引きずったり投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ・破損の原因になります。

支柱をたたんで運ぶか、キャスターを使って移動してください。

4. 設置する場所について

⚠ 危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。



この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠ 警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、勇馬が倒されて転倒や転落の恐れがあります。



⚠ 警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏さん、天板上で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

安全のために必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告 足元と周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

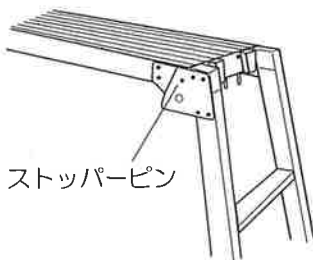
⚠ 警告 作業台の水平を確保し、傾斜地での使用はしないでください。

5. 使用状態にするとき

⚠ 警告 両側のストッパーピンが確実にロック部に固定していることを確認してください。



ストッパーピンの掛かりが不十分で使うと支柱が折りたたまれ、転落事故の恐れがあります。



⚠ 警告 支柱を開くときは、折りたたみ金具の回転部で、手をはさまないように注意してください。



けがをする恐れがあります。



6. 使用状態に設置するとき

⚠ 警告 高くするために、勇馬にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。又、天板の上に箱やイスなどを乗せたりしないでください。

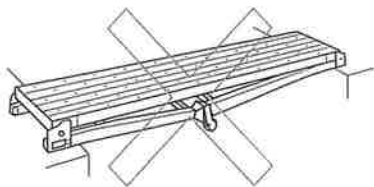
つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。



天板が必ず水平となる状態で設置してください。また、傾斜地での使用はしないでください。

⚠ 警告 勇馬を水平にして、足場板として使わないでください。

段差によるつまづきと、支え部の外れによって転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

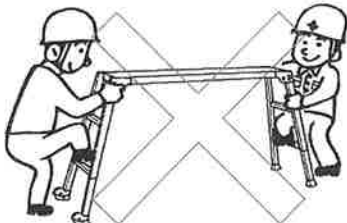


安全のために必ず守っていただきたいこと

7. 登り降りや作業をするとき

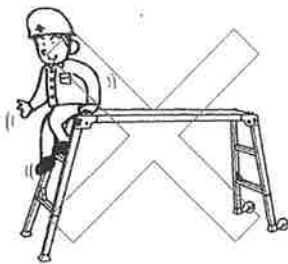
⚠ 警告 同時に2人以上乗らないでください。

勇馬が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。



⚠ 警告 勇馬を背にしたり、手放して登り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。



勇馬14、18、20は手がかり棒を持ち登り降りしてください。
(16ページ参照)

⚠ 警告 勇馬から横に身体を乗り出して作業をしないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずし、転落する恐れがあります。

⚠ 注意 片荷にならないように注意してください。

⚠ 警告 局部に荷重をかけないでください。



⚠ 警告 身体の安定が得られないような荷物を持って登り降りしないでください。

バランスをくずし、転落や転落する恐れがあります。

安全のために守っていただきたいこと

⚠ 警告 静かに登り降りし、天板、踏さんから飛び降りたりしないでください。

降りるときは、最下段の踏さんまで使って静かに降りてください。

⚠ 警告 作業中天板の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

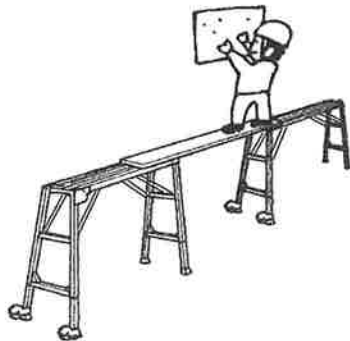
無理に押したり、引いたりすると、反動で勇馬が不安定になって横転しやすくなります。



⚠ 警告 踏さんの上で作業はしないでください。

⚠ 警告 二つの勇馬の間に、市販品の足場板をかけて使わないでください。

足場板が滑り天板や踏さんよりはずれ転倒や転落事故の恐れがあります。



※作業面積を大きくして使用する場合は専用の「連結ブリッジ」を使用してください。

⚠ 警告 天板での作業で上ばかりに気をとられて足を踏みはずさないようにしてください。



⚠ 警告 天板の上で脚立・はしごを使用しないでください。

⚠ 警告 荷を載せたまま勇馬を移動しないでください。

⚠ 警告 勇馬より他への乗り移りしないでください。

⚠ 警告 勇馬を加工、改造しないでください。

⚠ 警告 荷を載せたまま、脚調節（高さ調節）をしないでください。

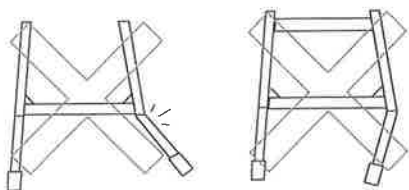
ご使用前の点検（日常点検）

本品をお使いになる前には、下記の点検を行い異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

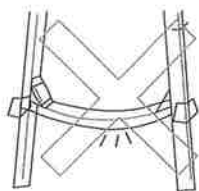
＜本体の点検＞

1. 目で見えて、下記の点検をしてください。

- ① 踏さん、天板にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭きとってください。
- ② 支柱に曲がり・ネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。
- ③ 伸縮脚に図のような曲がりがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



- ④ 踏さんに曲がりがありますか。ある場合は、絶対に使わないでください。



- ⑤ 天板に曲がり・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。

- ⑥ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は絶対に使わないでください。

- ⑦ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。

- ⑧ 支柱端具がすり減ったり、外れたりしていませんか。している場合は、絶対に使わないでください。

2. 伸縮脚と脚調節装置の点検をしてください。

- ① 伸縮脚のラック部に泥・ペンキ・モルタルなどがついていないか確認し、ついている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は絶対に使わないでください。

- ② 伸縮脚のラック部に凍結や雪で目づまりを起こしていないか確認し、目づまりをしている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は絶対に使わないでください。

- ③ 伸縮脚のラック部に割れ・キレツがないか又は、凹んだりしていないか確認し、ある場合は絶対に使わないでください。

- ④ 脚調節装置のノブ操作がスムーズに動くか確認し、動かない場合は絶対に使わないでください。

- ⑤ 伸縮脚がスムーズに動くか確認し、動きが悪い場合は支柱と伸縮脚の間の泥・砂等の異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油・潤滑油スプレーを注油してください。それでも動きが悪い場合は絶対に使わないでください。

ご使用前の点検（日常点検）

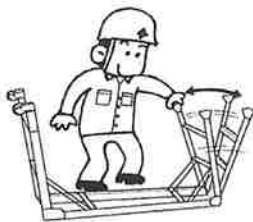
3. 下記の箇所を触って点検をしてください。

- ① 各段の踏さんをねじってみて、ガタガタしていないか点検してください。ガタガタしている場合は、絶対に使わないでください。

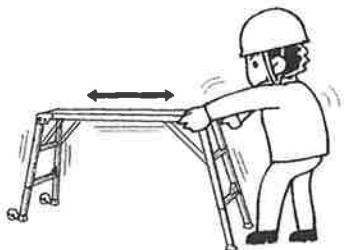


4. 支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

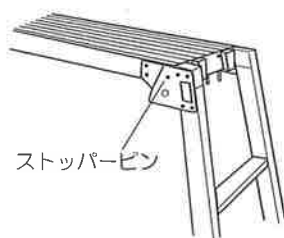
- ① スムーズに開閉できますか。スムーズに開閉できないときは、左右の折たたみ金具に泥やセメント・ゴミ等の噛み込みがないか点検しあれば取り除いてください。



- ② 左右の折たたみ金具のゆるみや、ガタツキがありませんか。ガタツキがあるときは、折たたみ金具のゆるみや外れが考えられますので絶対に使わないでください。



- ③ 左右のストッパーピンが確実にロック部で固定できますか。できないときは、絶対に使わないでください。



<手がかかり棒の点検>

1. 下記の点検をお願いします。

- ① 手がかかり棒はスムーズに伸縮できますか。
- ② 手がかかり棒固定装置は確実にロックできますか。できない場合は絶対に使わないでください。
- ③ 手がかかり棒及び受金に曲がり・キレツ・ネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないでください。
- ④ リベット、ねじのゆるみ、抜け落ちがありませんか。ある場合は絶対に使わないでください。

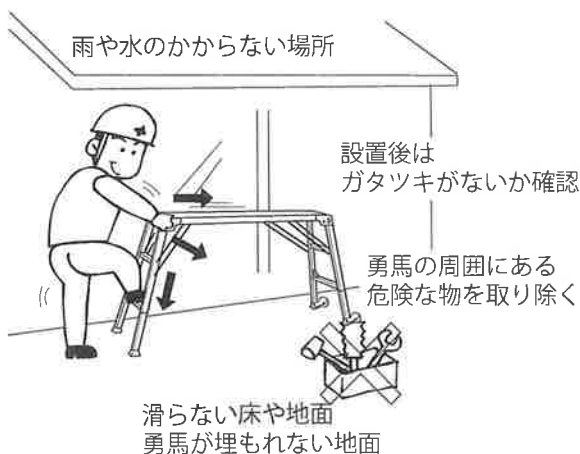
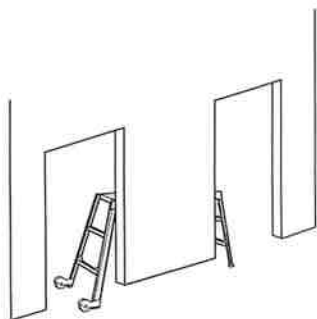
設置場所について

- 滑りにくい地面や床、また勇馬が埋もれない地面を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 勇馬の周囲に危険な物がなくバランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 床の凹凸、開口部による事故のないように注意してください。
- 設置後は、ガタツキがないか確認し、ある場合は、伸縮脚を調整してガタツキを取り除いてください。

(4ページ伸縮脚調節の伸縮機能について参照)

⚠注意

- 人が通行する場所に設置するときは、通行する人がキャスターを踏んだり、つまづいたりしないよう設置場所に十分注意してください。
キャスターを踏んだり、つまづいたりして転倒の恐れがあります。
- 勇馬に登り降りするときにキャスターを踏んだりしないように注意してください。



勇馬(ESK)の使いかた

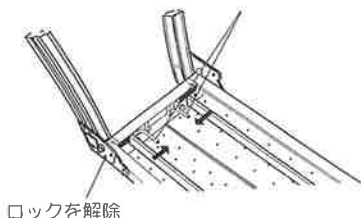
組立手順を遵守しないと死亡や重大な事故
製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用状態にするときと たたみかた

＜組立てるとき＞

- ① 勇馬を折りたたんだ状態のまま、床面に寝かせてください。
- ② 左右のストッパーピンをつまみ部を内側によせロックを解除します。

ストッパーピンのつまみ部



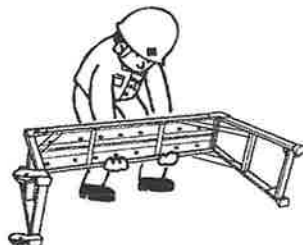
- ③ 上側の踏さんをもって、いっぱいまでゆっくり開きます。
ストッパーピンが確実にセットされているか確認してください。



- ④ 開いた支柱の上部を持って静かに横に倒しておきます。



- ⑤ 天板部を上を持ち上げながら使用状態に起こします。



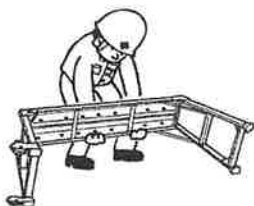
- ⑥ 後述＜開き止め金具の使いかた＞の説明にしたがって開き止め金具をロックしてください。
- ⑦ 勇馬-14、18、20は手がかり棒を必ずセットしてください。



勇馬(ESK)の使いかた

＜たたむとき＞

- ① 手がかり棒収納後天板を手前に倒しながら横に寝かせます。



- ② 開いた支柱の端部を持って、天板が下になり、支柱が上に向く様に引き起こします。



- ③ 後述の＜開き止め金具の使いかた＞の説明にしたがって開き止め金具のロックを解除します。

- ④ 左右のストッパーピンのつまみ部を内側によせロックを解除します。

※折たたみ金具（小）側を先に折りたたんでください

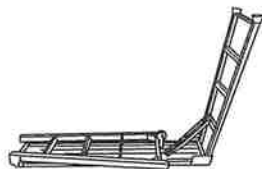
- ⑤ 上側踏さんを持って、支柱を内側にゆっくりたたみます。
※手を挟まないように注意してください。



＜開き止め金具の使いかた＞

（使用状態にするとき）

- ① 天板を下にし、支柱を開くと開き止め金具も自動的に開きます。さらにストッパーピンもロックされます。



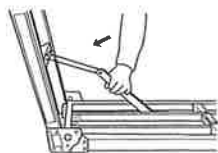
- ② 天板を上側に起こした後下図の様に開き止め金具の↓位置を上から押さえて金具を一直線にします。
※開き止め金具は全てセットしてください。



（収納するとき）

- ① 収納は天板を下に寝かせ、下図のように↓位置を上から押さえます。

※手を挟まないように注意してください。



- ② ストッパーピンのロックを解除して支柱を折りたたむためには開き止め金具も自動的に収納できます。

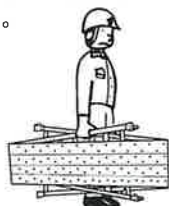
⚠ 注意

開き止め金具を押さえ、支柱を折りたたむときに、手を挟まないように注意してください。

勇馬 (ESK) の使いかた

<移動のしかた>

- 移動は引きずらずに支柱をたたんで運んでください。



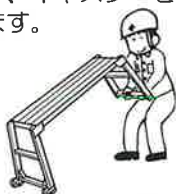
※伸縮脚は必ず縮めてください。
伸縮脚の破損・曲がりの原因になります。

※移動するときは、支柱端具を引きずらないでください。

<カスターの使いかた>

- ① 伸縮脚を縮めてください。
- ② カスターのないほうの最下段の踏さんを持ち上げ、カスターを転がして移動します。

※勇馬20号には
カスターは
付いていません。

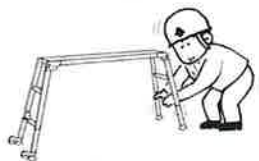


- ③ 凸凹の地面のカスターでの移動は、破損する恐れがありますので使わないでください。

2. 伸縮脚の伸ばしかたと縮めかた

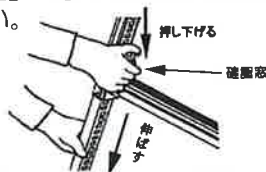
<伸ばしかた>

- ① 脚調節装置を下から手で少し上に持ち上げます。



- ② ノブを引くと、伸縮脚が伸びてきます。
- ③ 長さが良いところでノブより、手をはなすと伸縮脚がロックされます。

- ④ そのまま勇馬を地面に設置してください。
- ⑤ 勇馬の天板が水平に設置されているか、また、接地面と勇馬にガタツキはないか確認してください。ある場合は①～④を繰り返して調整をしてください。
- ⑥ 最後に目視にて、ノブの確認窓が、「青色」になっているか確認してください。



※ノブを引いても伸縮脚が伸びない場合は、手で伸縮脚を引き出してください。

<縮めかた>

- ① 脚調節装置を下から片手で少し上に持ち上げます。
※この時、片側の伸縮脚は地面につけたままで、勇馬が倒れないように注意してください。



- ② ノブを引き、片手で伸縮脚を持って縮めてください。
- ③ 縮めたところで、ノブより手をはなすと伸縮脚が止まります。
※使った後は、伸縮脚を絶対に縮めてください。支柱がたためなくなったり、また、伸縮脚の破損、曲がりの原因になります。

注意：開き止め金具をロックした状態で伸縮脚がスライドしない場合は、開き止め金具のロックを解除してスライド操作を行ってください。

勇馬(ESK)の使いかた

3. 登りかた・降りかた・作業のしかた

- 登る前に、必ず伸縮脚とストッパーピン及び開き止め金具が確実にロックされていることを確認してください。



- 安全靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 天板での作業で、上ばかりに気をとられて足を踏みはずさないようにしてください。



- 身体の前面を昇降面に向け、両手・両足を使って慎重に登り降りしてください。
- 勇馬14、18、20の場合は手がかり棒をセットし、手がかり棒をもちながら、慎重に登り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負う等して、両手を使えるようにしてください。
- 降りるときは、1段づつ踏さんに足を掛け、最下段の踏さんまで使って慎重に降りてください。
- 作業中に勇馬を移動するときは、勇馬から降りて移動してください。

4. 手がかり棒の使いかた (勇馬(ESK)-14、18、20)

- ① 手がかり棒固定装置のノブを引き、90° 回し解除してください。
- ② 手がかり棒の底を手で押し上げてください。
- ③ 指定の長さでノブを再度90° 戻しカチッとロックすれば固定します。
- ④ この時「青（固定）」を確認してください。

※手がかり棒は、勇馬昇降時の補助具です。天板の上での作業時に大きな力をかけないでください。手すり代用など、他の目的に使用しないでください。

※勇馬14、18、20は手がかり棒を必ず使用してください。

- ⑤ 収納の際は、組立てと逆の手順になります。
- ※手がかり棒に安全帯をかけないでください。
- ※手がかり棒に寄りかからないでください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

勇馬にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

＜掃除のしかた＞

- ① 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ② 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③ 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

※伸縮脚部と脚調節装置部は特に上記の要領でお手入れください。

⚠ 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしますと腐食の原因になりますので、残らないように拭き取ってください。

2. 保管のしかた

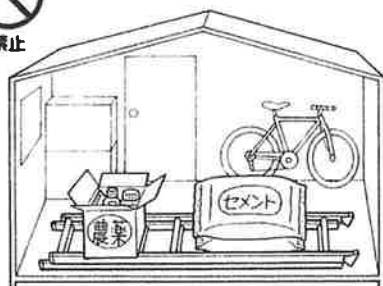
- ① 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
- ② 勇馬が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。



禁止



※勇馬を積み重ねるときは、最大10台までにしてください。

※勇馬を保管するときは伸縮脚を絶対に縮めてください。

支柱がただめなくなったり、又、伸縮脚の破損、曲がりの原因になります。

故障かな？と思ったら（不調診断）

<現象> ●使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏さんの接合部にゆるみ、ガタツキキレツがありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
支柱と折たたみ金具の接合部に、ゆるみやガタツキはありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

<現象> ●ストッパーピンが確実にロックできない。

●開き止め金具が確実に掛からない。●支柱がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
ストッパーピン及び開き止め金具が変形していませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
ストッパーピン、ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビがありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
支柱や折たたみ金具に変形がありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

<現象> ●大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置のしかた
全体が大きく変形していませんか。	曲がったものは使わないでください。廃棄してください。
支柱、踏さん及び天板に、曲がりヘコミなどの変形はありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

<現象> ●折りたたんだとき、合わされる脚に大きなズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
収納状態にしたとき、折たたみ金具の変形や支柱の曲がりはありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
折たたみ金具を止めているリベットがゆるんだり外れたりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

故障かな？と思ったら（不調診断）

＜現象＞ ●伸縮脚が動かない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚が曲がっていませんか。	曲がったものは使わないでください。 廃棄してください。
伸縮脚と支柱の間に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油、潤滑油スプレーを注入し、それでも動きが悪い場合は廃棄してください。
伸縮脚と支柱の間が凍結していませんか。	

＜現象＞ ●伸縮脚がロックできない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚のラック部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	ラック部の目づまり（異物）を完全に除去してください。 又、取れない場合は使わないで廃棄してください。
伸縮脚のラック部に凍結や雪による目づまりしていませんか。	
伸縮脚のラック形状が欠けたり、かどが磨耗又は凹んだりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

＜現象＞ ●脚調節装置のノブが動かない。

点検する箇所	処置のしかた
脚調節装置部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石がはいりこんでいませんか。	ある場合は異物を完全に取り除きブラケットの注油口より、機械油、潤滑油スプレーをしてください。それでも動きが悪い場合は使わないで廃棄してください。

